[008] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/24534>

出版情報：九州大学東洋史論集. 8, 1980-03-03. 九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：

編 集 後 記

本号は、越智教授の北朝の雑戸を扱った論考を始め、片山共夫氏の元朝ケシユク制、和田正広氏の明代の官評、それと私の明末の棉作問題を扱った四編で構成しました。極く限られた地域、時期のみを扱った拙稿を除けば、他の三編は、いずれも、当該社会の政治、社会を知る上で極めて重要な問題を扱った野心作です。越智論文は、これまで浜口重国氏の論考がよく知られていましたが、越智論文の出現で再びこの問題が活発に論議されるようになると思われます。また、片山論文は、氏がこの間一貫して扱ってきた元朝の貴族制の基礎をなすケシユク制問題の一斑である。他の論考と併せお読み頂きたい。また、和田論文は、本誌2号に掲載した論考の続編であるが、研究の進展を示す好論文である。

(川勝)

九州大学東洋史論集

第 八 号

昭和五十五年二月二十五日 印刷

昭和五十五年三月 三 日 発行

福岡市東区箱崎

編集兼 九州大学文学部内

発行者 九州大学文学部

東洋史研究会

代表者 越 智 重 明

印刷所 出 田 印 刷 館

福岡市博多区中呉服町

九一二二

電話 二七二六六四五